

水源の状況と天候の見通し (2月～4月)

1	東海地方の天候（1月）	1
2	ダム地点の降水量（1月）	1
3	水源の状況と天候の見通し	2
	（1）水源の状況	2
	（2）東海地方の3か月予報（2月～4月）	4

令和5年2月7日

（公財）愛知・豊川用水振興協会

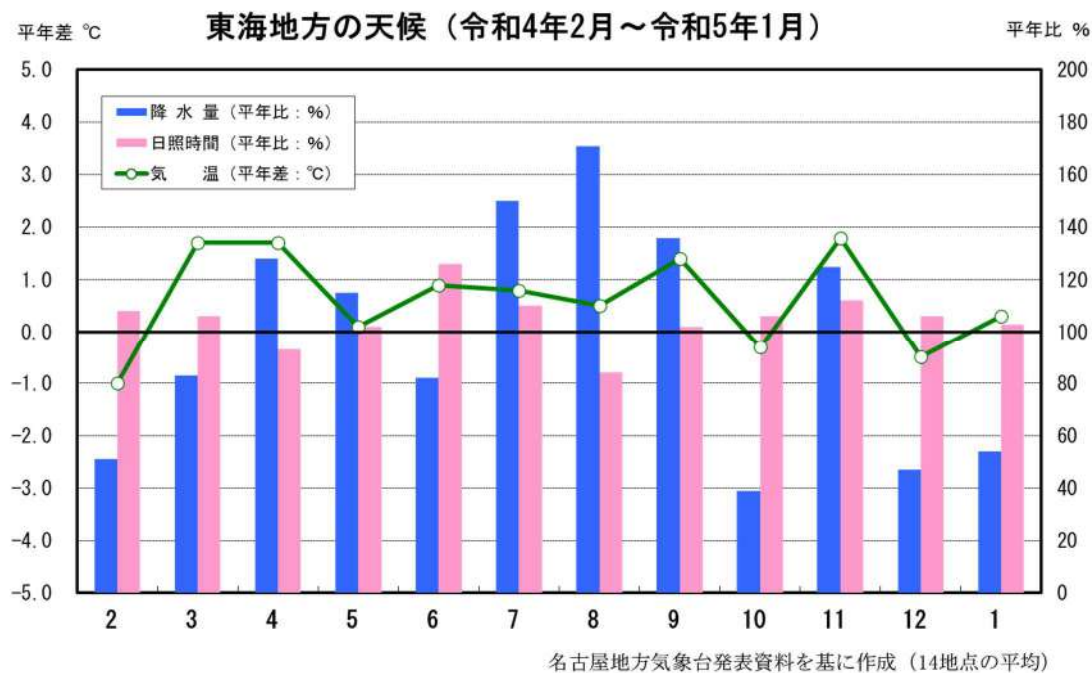
(<https://www.aitoyo.or.jp/>)

1 東海地方の天候(1月)

上旬と中旬は冬型の気圧配置や高気圧に覆われて晴れた日が多く、下旬は低気圧の影響を受けて天気は数日の周期で変化しました。まとまった雨の降った日が少なかったため、月降水量は少なくなりました。岐阜県山間部では曇りや雪または雨の日が多くなりました。また、中旬は暖かい空気に覆われやすかった一方、下旬は強い寒気の影響を受けやすかったため、気温の変動が大きく、月平均気温は高くなりました。

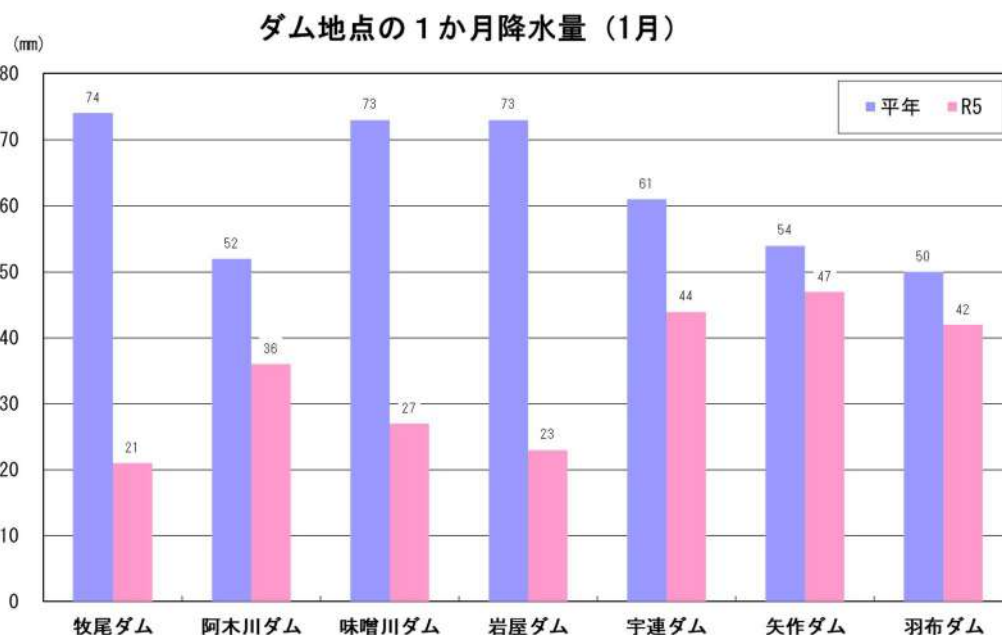
月平均気温は「高い」、月降水量は「少ない」、月間日照時間は「平年並」となりました。

(名古屋地方気象台 令和5年2月2日発表資料を基に作成)



2 ダム地点の降水量(1月)

ダム地点の1か月の降水量は、7地点の平均で平年比55%となりました。



3 水源の状況と天候の見通し

(1) 水源の状況

令和5年1月31日現在のダム貯水率は、次表のとおりです。
当協会のホームページにおいて、以下の情報を掲載していますので、ご覧下さい。

「あいとよネット」で検索
(<https://www.aitoyo.or.jp/>)

★ダム貯水量曲線

★水源の状況と天候の見通し(3か月予報) [月1回更新]

木曽川、豊川、矢作川水系のダム貯水率

R5.1.31

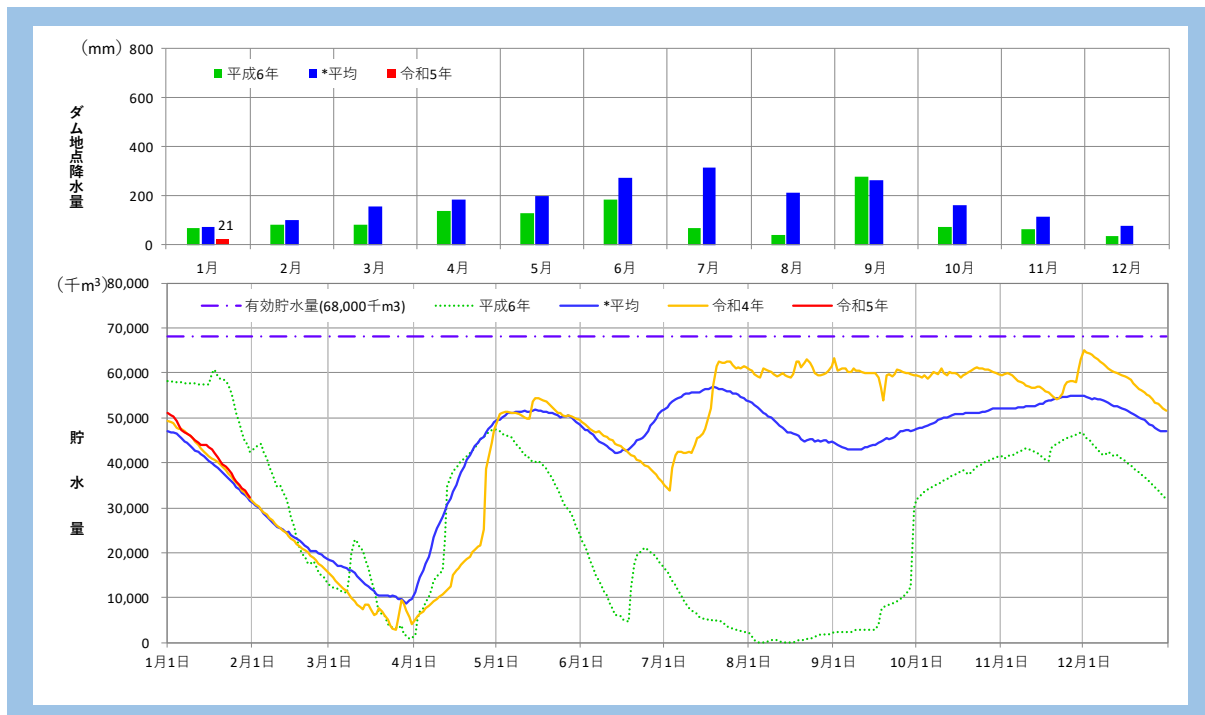
水 源	利水容量 (千m3)	貯 水 量 (千m3)	貯水率 (%)	平年貯水率 (%)	平年との差 (%)
木曽川水系					
牧尾ダム	68,000	32,218	47.4	46.4	+ 1.0
阿木川ダム	22,000	16,252	73.9	82.2	△ 8.3
味噌川ダム	31,000	30,293	97.7	93.2	+ 4.6
岩屋ダム	61,900	61,900	100.0	93.3	+ 6.7
豊川水系					
宇連ダム	28,420	17,221	60.6	54.1	+ 6.5
豊川用水全体	51,820	36,939	71.3	69.3	+ 1.9
矢作川水系					
矢作ダム	65,000	24,800	38.2	42.6	△ 4.4
羽布ダム	18,461	12,075	65.4	69.9	△ 4.5

注) 貯水率は、当日の24時(木曽川・豊川)または9時(矢作川)の値

貯水量曲線は、ホームページ「ダム貯水率」及び、「ダム貯水量曲線」に掲載

牧尾ダムの貯水量曲線

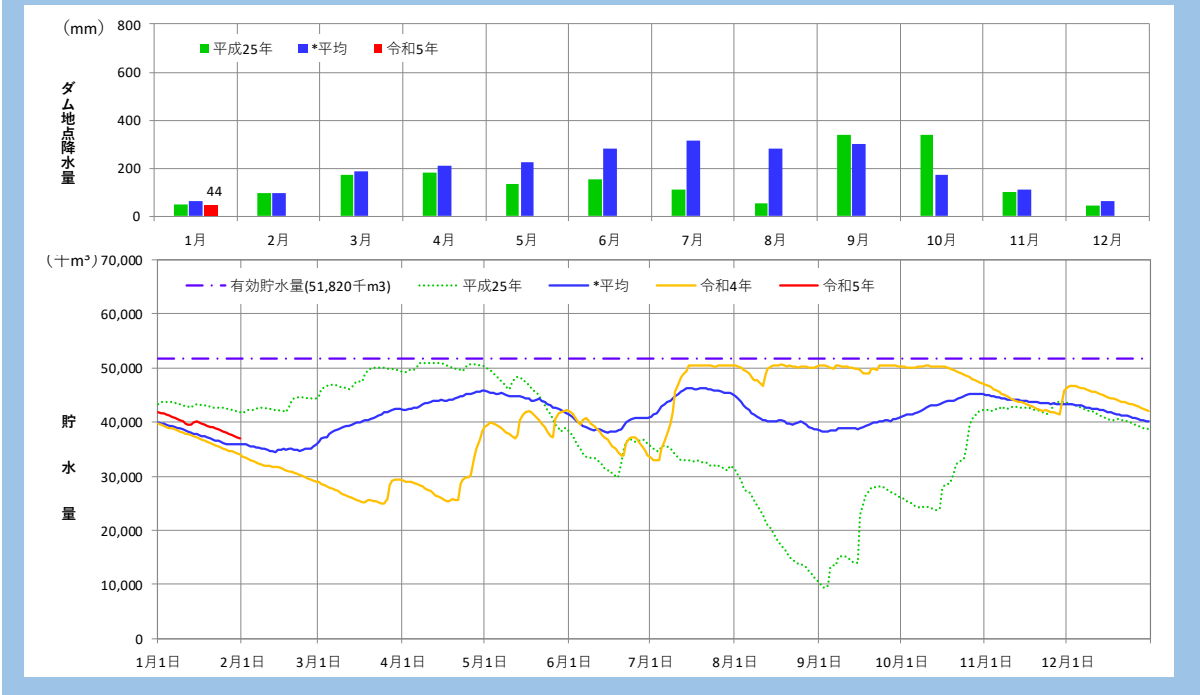
貯水量 **32,218 千m3** 1月31日 現在



*平均: 昭和37年1月から令和4年12月
(データ提供: 独立行政法人水資源機構愛知用水総合管理所 URL <https://www.water.go.jp/chubu/aityosui/>)

豊川用水全体の貯水量曲線

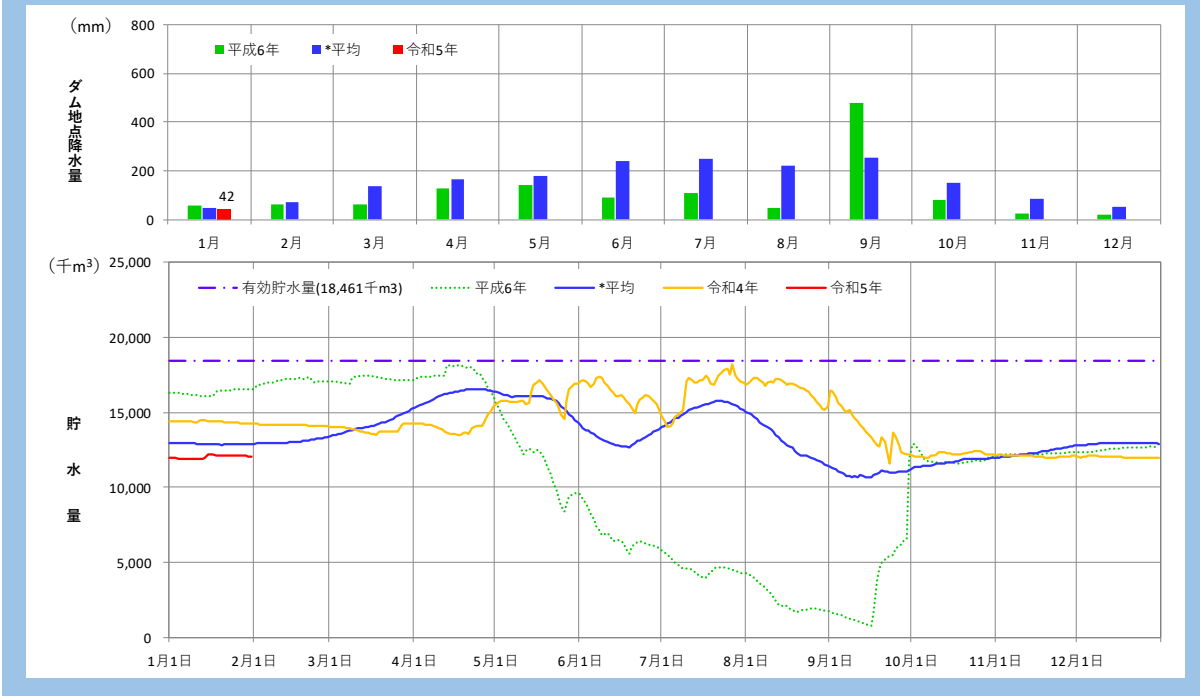
貯水量 **36,939 千m³** 1月31日 現在



*平均:平成14年4月から令和4年12月(雨量は昭和43年4月から令和4年12月)
 (データ提供:独立行政法人水資源機構豊川用水総合事業部URL <https://www.water.go.jp/chubu/toyokawa/>)

羽布ダムの貯水量曲線

貯水量 **12,075 千m³** 1月31日 現在



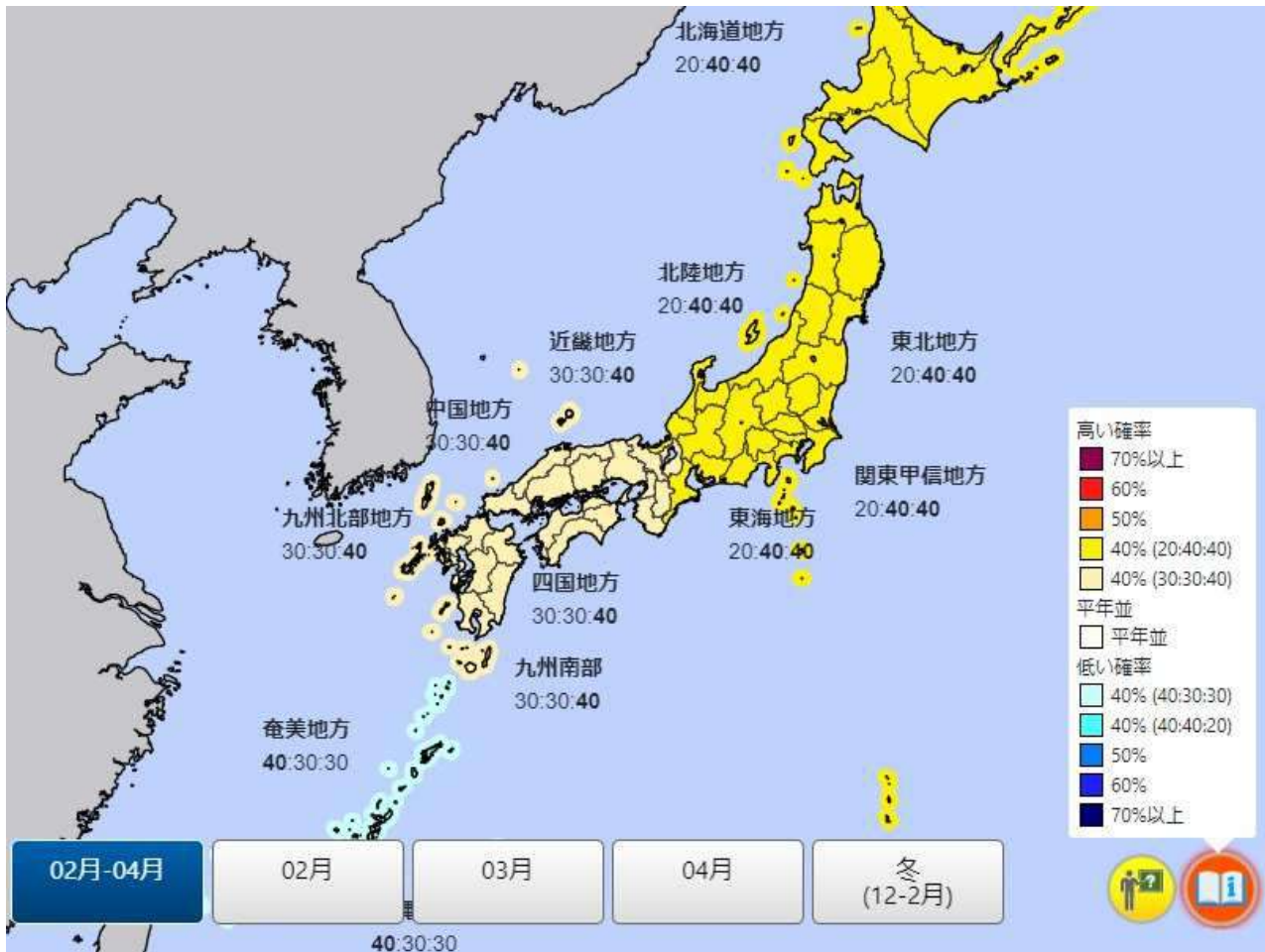
*平均:昭和39年1月から令和4年12月
 (データ提供:愛知県西三河農林水産事務所用水管理課)

(2)東海地方の3か月予報(2月~4月)

(名古屋地方気象台 令和5年1月24日発表資料を基に作成)

① 気温

東海地方の3か月全般(2月~4月)の平均気温は、下図のように、低い確率が20%、平年並が40%、高い確率が40%の予報となっています。

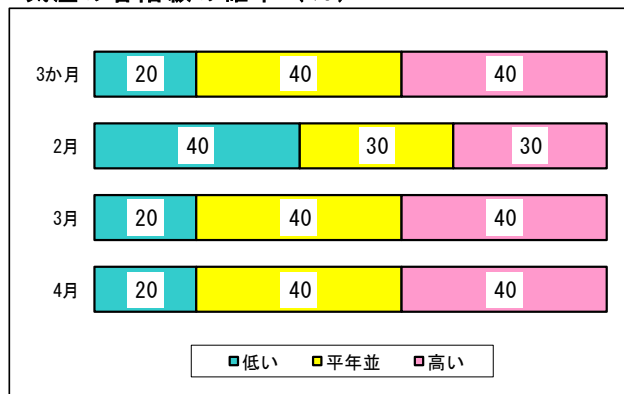


同様に、2月から4月までの月別予報は、下図左のとおりです。

ここでは、気温の各階級の確率に応じて、それぞれの予報を下図右のように±5段階の等級に区分することとします。

この結果、気温は、3か月全般で[+2]、2月は[-1]、3月、4月は[+2]となります。

気温の各階級の確率(%) (東海地方)



各階級の確率と等級 (東海地方)

気温	等級	予報確率	3か月	2月	3月	4月
高い	+5	: :70				
	+4	: :60				
	+3	: :50				
平年並	+2	20:40:40	●		●	●
	+1	30:30:40				
	0					
低い	-1	40:30:30		●		
	-2	40:40:20				
	-3	50: :				
	-4	60: :				
	-5	70: :				

② 降水量

東海地方の3か月全般（2月～4月）の降水量は、下図のように、少ない確率が40%、平年並が30%、多い確率が30%の予報となっています。

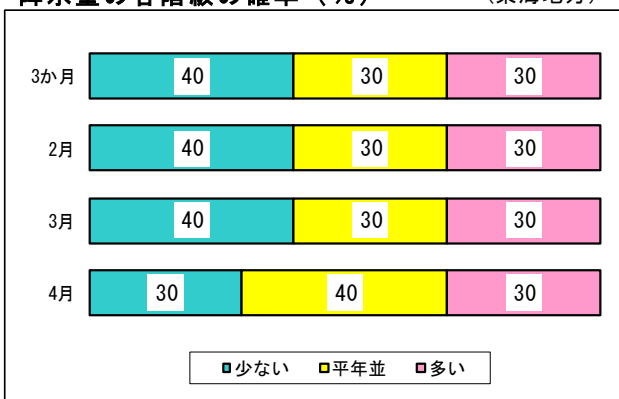


同様に、2月から4月までの月別予報は、下図左のとおりです。

ここでは、降水量の各階級の確率に応じて、それぞれの予報を下図右のように±5段階の等級に区分することとします。

この結果、降水量は、3か月全般で[-1]、2月、3月は[-1]、4月は[0]となります。

降水量の各階級の確率 (%) (東海地方)



各階級の確率と等級 (東海地方)

降水量	等級	予報確率	3か月	2月	3月	4月
+5	70%以上	: :70				
+4	60%	: :60				
+3	50%	: :50				
+2	40% (20:40:40)	20:40:40				
+1	40% (30:30:40)	30:30:40				
0	平年並					●
-1	40% (40:30:30)	40:30:30	●	●	●	
-2	40% (40:40:20)	40:40:20				
-3	50%	50: : :				
-4	60%	60: : :				
-5	70%	70: : :				